



ロータリー:
変化をもたらす

第2600地区 丸子ロータリークラブ会報 (創立1963年8月28日)

MARUKO Weekly Report

ロータリー:変化をもたらす



RI会長/イアンH.S.ライズリー

D2600ガバナー/関 邦則

会長/佐藤重喜

副会長/宮本伸司

幹事/河野正美

会報委員長/奥寺浩司

第2648回例会

2018年3月15日 Vol.55/No.25

外部卓話

【丸子修学館高校 学校長 両角文秋様】



今日は、丸子修学館高等学校について、お話をしようと思います。

本校が総合学科に転換して、丸11年たちました。全国に総合学科ができたのは平成6年のことでしたが、長野県での設置は平成12年の塩尻志学館が最初でありました。現在全国に365校の総合学科を設置している高校がございます。その流れの中で本校は平成19年度の入学生から総合学科の学びを始めたわけです。3日の卒業式で本校を巣立った生徒は総合学科9期生ということになります。この学年は私が校長として入学を許可し、卒業証書をわたす唯一の学年でありました。この3月をもって私も退職となります。本当に丸子ロータリークラブの皆さんには大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。退職に当たって、本校の歴史をもう一度創立当時から振り返ろうと、古い資料を眺めておりました。今からさかのぼること、106年前に創立された丸子農商学校の理念は、総合学科の理念と重なることが多いことに驚きました。今日はそのあたりのこととお話ししようと思います。

総合学科が考え出された背景には、高等学校教育には「生徒の目的意識の欠如」「中学3年生における学科選択の困難性」「偏差値による不本意入学」「画一的・硬直的・閉鎖的な教育課程」「特定の職業教育では不十分」「受動的な学習活動」などの課題がありました。そこで、どんな能力や態度を身につけさせようとしたかという、『充実した自己と豊かな社会を力強く切り拓いていく能力・態度』『社会での自己の在り方や生き方(存在・役割)を認識(見出す)する能力』『職業の選択・決定に必要な能力・態度』『将来の職業生活や社会生活に必要な態度やコミュニケーション能力』『課題を認識し課題を解決する能力や自発的・創造的な学習態度』『生涯にわたって、主体的・能動的に学習を重ねていく意欲や態度』を考えました。そこで、取り入れたこと

は、「実践的・体験的な学習及び探究的な学習の重視(☆スピーチ・ディベート ☆ 討論・発表・座談会 ☆ 調査・情報収集 ☆ 課題研究 など)」「学年の区分によらない柔軟な教育課程の編成と運用」「主体的な科目選択」などでした。本校でも1年次から体験的な学びを重視し、発表をさせ、3年次では総合研究と称してそれぞれの分野で探究活動をさせ、そして発表会という流れがあります。総合学科のこの学びは、高校教育全般にも波及し総合学科教育は「他学科におけるキャリア教育」、「他学科におけるコース制や類型制等の導入、生徒の興味・関心等に沿った科目の開設、選択幅の拡大等による多様な生徒への対応」「専門学科における産業構造・就業構造の変化等に対応した教育内容の改善、多面的な知識・技能の習得等」をリードする役割を果たしていると言えます。

そんなことを考えながら、丸子農商学校創立当時の資料を読んでもみると、驚くわけでありました。資料を読む前に、当時の近隣の学校について考えてみたいと思います。明治25年には現上田東高等学校である県立小県蚕業学校が、明治33年には現上田高等学校である、県立上田中学校が、明治34年には現上田染谷丘高等学校である小県郡立上田高等女学校が創立されています。そして、明治44年には現繊維学部の前身上田蚕糸専門学校が創立されています。また、農商学校と同じような乙種実業学校としては、明治43年に現坂城高等学校である埴南農蚕学校が創立されています。そんな中、この丸子地域で実業学校設立の声が高まり、明治45年4月組合立丸子農商学校が産声を上げたわけでありました。前置きが長くなりました。それでは、資料を読みましょう。

「創立3周年記念学校要覧」からコピーした資料「本校経営方針」であります。「第1条本校生徒教育の目的は農商民的品性を陶冶し並びに農商民的知識技能を修得せしめ以て実地経営に堪能ならしむるにあり。」つまり人間性を育てること、実地経営を重視していることがわかります。

事務所/〒386-0404 上田市上丸子1695

丸子コミュニケーションセンター内

TEL/0268-42-3988 FAX/0268-42-4105 E-Mail/marukorc@siren.ocn.ne.jp

例会場/〒386-0404 上田市上丸子948

魚久本店 TEL/0268-42-2017

「第2条本校生徒教授の目的は農商業に関する学理と技術とを授け理論の高尚なるよりは実地応用の自在なることを企図す。」ここからは理論よりも実践という姿勢が見て取れます。もちろん、実業学校なわけですから当然ですが、現在の本校のめざす生徒像学校案内の3ページの「創造力」表現したことを実際に行い、形にする力に通じるところがあります。

裏面には創立当時の「本校教授の方針」があります。読んでみます。「読書、作文、算術、理科のごとき普通学の充実に勉む之本校課程表に於いて普通学の割合に多くの時間を示せる所以なり。且つ普通学と雖も実際的にして、よく実務に近接せることも課程表に示せるがごとし。次に実業上の知識を授くるに当たりても教育綱領第2条に示せるごとく、实际的知識と実地的技術とを授くるを旨とし所謂科学的知識を授くるがごときは固より希うところにあらず。務めて平易簡明を旨として敢えて理論の高尚に走ることを無く、況や不確定なる学説薄弱なる経験のごときは深く警戒し結局実地応用の自在なることを企図する方針なることも亦本校学科課程表の全部に亘りて精神の瀟灑せるを知るべし。」この中にも「実際的にして」とか「実務に近接すること」「平易簡明を旨として」「敢えて理論の高尚に走ることをなく」などと、現在の本校教育や総合学科教育の方向性と重なる表現が見て取れます。

さて、明治45年に創立した農商学校は、生徒募集に苦勞しながらも、地元産業界の後押しで教育の充実が図られてきます。明治45年は大正元年ですが、この年の10月丸子村が丸子町になりました。つまり、それだけこの地域が栄えていた証拠でもあります。当時の丸子町の人口をみると、大正2年男2579女2660計5239人でしたが、大正8年になると男3925、女7836計11761人となっています。女性が多いのは、製糸工場の女工さんたちがたくさんいたわけです。それだけ、製糸業が盛んになっていたのです。大正6年には丸子劇場ができ、7年には依水館が作られたのも納得できます。

産業界に後押しされ、組合立から郡立への移管の動きが出てきます。それが資料2を読むとわかります。大正10年に長野県知事に対して、当時の町長であった小林清之助氏が提出した稟請書です。当時の教育方針も確認できます。「2学年までは農商に区別を立てず教授し3学年に至りて科を分ち教授いたしおり候。思うに元来農業学校は生産方面の学科のみに重きを置きその販売並びに資本運用方面に関しては殆ど顧みざるの有様に候。又商業学校に於いては労働の習慣の涵養につきては何らの施設する処なく、実業家養成として一大欠点なりと信じ申し候。当校は茲に鑑みる処あり。創立より農家と雖も農業上に関する知識技

能を授くるのみならず商的訓練を施し農家経営者として適切なる青年を出すことに努め又商科も単に商業上の学科を教授するのみならず、農業の大意並びに実習を課し労働の神聖なるを自覚せしめ以て活動的人物を養成する方針に候。」

資料1でもみた創立当時の教育方針が書かれています。2学年までは農商の区別をしないというのは、総合学科の1年次は共通に学ぶ、2年次からは自分の適性や希望に沿って選択する形と同じ理念です。また、系列に縛られずに選択することも可能で、いろいろな分野を学ぶことができ、地域貢献活動などで地域社会に役立つ人材を育成しようと考えています。それは「労働の神聖なるを自覚せしめ以て活動的人物を養成する」に相通じています。

裏面に行きます。「小県郡に於いては大正89年の兩年度に亘り郡教育調査会なるものを設け他府県視察並びに研究討議の結果大正10年3月19日総会において丸子農商学校は修業年限5か年に延長し郡立となし経営することに決定いたし候。而して丸子町に於いては郡に教育調査会の設けらるるや当校をして郡に移管を容易ならしむる為実習地4千4百28坪の購入費として有志者より4万4千300円の寄付を受け既に購入いたし候。」農商学校のために4万円以上の寄付があったのです。そのうち下村亀三郎氏からは7500円もの寄付があったという記録が残っています。当時の丸子町の予算歳入総額が7万円ほどですので、この金額の多さがわかるというものです。地域の方々の農商学校に対する熱い気持ちが表れています。

大正11年、農商学校は県立移管となり10周年の記念式典にと一緒にこれを祝っています。創立10周年祝賀記念帖の緒言には、「而して今や組合立より一躍県立5か年制の実業学校たるに至れるは我らの歓喜に耐えざる所なり」と喜びの聲が書かれています。県立移管とか乙種から甲種に昇格することは、大変な喜びだったようです。例えば、現坂城高校埴南農蚕学校の創立は本校よりも2年早いわけですが、県立になったのは戦後新制高校になったときです。このことから当時の丸子町の経済力・政治力の強さの一端がしのべれます。

校長室に10周年記念式典の記念品としてたばこ盆のセットが置かれています。これは100周年の年に三吉治敬氏から寄贈されたものですが、当時としては立派な塗り物であります。持ってまいりましたのでご覧ください。なお、三吉治敬氏は、本校創立にも尽力された当時の小県蚕業学校の三吉米熊校長先生のお孫さんです。結構な品であります。こんなところからも、当時の丸子の隆盛がしのべれます。

丸子農商学校の創立に関して疑問が一点ありま

す。地域の村々の組合立で創立されたわけですが、それは、丸子村、塩川村、依田村、東内村、西内村、武石村の6か村の組合立でした。長瀬村が入っていないわけです。理由は分かりません。何とか理由を突き止めたいと思っております。退職後のライフワークにします。

また、お話しさせていただければ幸いです。それでは、今日はこのあたりで終わりにします。ありがとうございました。



創立10周年記念品の煙草盆

【会長挨拶】

佐藤重喜会長



こんにちは。両角先生、お忙しい中卓話をお引き受けいただき有難うございます。

修学館高校には青少年交換学生の件で大変お世話になり感謝申し上げます。

この3月を以てご退職とのこと、ご苦労様でした。

来週の夜間例会には先生にもご出席いただけるそうですのでこれも楽しみに大勢のご参加をお願いいたします。

来週一週間は、上田市は大変騒がしくなることと思います。何方が市長になるのか、市議員になるのか分かりませんが選挙には皆さん参加しましょう。

本日は、先生のお話をじっくりお聞きしたいので会長挨拶は簡単にさせていただきます。先生宜しくお願い致します。

【例会の記録】

- ◆S A A 小山充浩さん
- ◆司 会 掛川浩邦さん
- ◆ロータリーソング それでこそロータリー
- ◆ゲスト 丸子修学館高校
学校長 両角文秋様

【出席報告】

	会員数	出席者	メイク	出席率
本 日	35名	12名		46.15%
前々回	34名	15名	8名	88.46%

ラッキー賞 笹井寿美枝さん
ありがとうございます。
イチゴを頂き香りも春になりました。
事務所職員と頂きます。

【幹事報告】

河野正美幹事

今週の着信

- ・第2600地区事務所より
トロント国際大会参加募集の案内
- ・米山記念奨学会より
ハイライトよねやま送付
- ・上田東RCより
創立40周年記念例会開催案内恵送

今週の配布物

会報No.2647

【にこにこBOX報告】

齋藤育子委員長

「両角先生宜しくお願いします。」
佐藤重喜さん、山田裕さん、笹井寿美枝さん
小宮山陽一さん、内堀敏高さん、長島三夫さん
佐藤一元さん、服部正さん、栗木悦郎さん、
小山充浩さん、佐藤恵太さん
本日の喜投額 11.000円
累計喜投額 602.000円

ロータリー情報

基本的ロータリー用語集2

- ・D. : *District* ; 地区・・・D. 2600 第2600地区
地区とは、ロータリー用語 ; districtです。
第2600地区では、「東信地区」呼びはなく「東信グループ」と言う。
- ・ロータリアン ; ロータリークラブ会員は、それぞれのクラブの会員であって、国際ロータリー ; RIの会員ではない。
- ・国際ロータリー ; RIの会員は、各クラブである。
- ・ガバナー ; *Governor* (DG) : 所管地区内で指名され、RI国際大会で選挙された地区内唯一のRI役員。
- ・ガバナーエレクト ; *Governor Elect* (GE) : ガバナーノミニーが国際大会で選挙された後、ガバナーに就任するまでの間の呼称、次期ガバナーとも呼ぶ。
- ・ガバナーノミニー ; *Governor Nominee* (GN) : 地区内でガバナーとして就任する直前24ヶ月以上30ヶ月以内に指名・選出された被指名者。
- ・ガバナーノミニー・デジグネート ; *Governor Nominee-Designate* : ガバナーとして就任する直前24ヶ月以上36ヶ月以内に選出された被指名者。
- ・アクティングガバナー ; *Acting District Governor* : ガバナー職に空席が生じた場合、国際大会またはRI理事会が新ガバナーを選ぶまで、RI会長からガバナーを代行するよう任命された人。
- ・ガバナー補佐 ; *Assistant Governor* (AG) : 地区レベルでの任務を遂行し、担当するクラブ (グループ) の運営管理に関して、ガバナーを補佐するために、ガバナーから任命されたロータリアン。



第2600地区 丸子ロータリークラブ会報 (創立1963年8月28日)

MARUKO

ロータリー: 変化をもたらす



RI会長/イアンH.S.ライズリー

D2600ガバナー/関 邦則

会長/佐藤重喜

副会長/宮本伸司

幹事/河野正美

会報委員長/奥寺浩司

第2649回例会

2018年3月22日 Vol.55/No.26

夜間例会

【会長挨拶】

佐藤重喜会長

皆さん今晚は。
 本日は、沢山のお客様をお呼びしての夜間例会です。
 先週卓話をお願いした丸子修学館高校の両角文秋さんと親クラブの上田RC土屋陽一さんと窪田秀徳さんの3人です。
 修学館高校の両角先生は、この3月に退職され新たに長野文化学園高校に赴任されます。これからは一教諭として第二の人生を送られるそうです。ご苦労様です。
 上田RCの土屋陽一さんと窪田秀徳さんは、本日お忙しい中当クラブの夜間例会にご参加くださいました。
 ありがとうございます。
 皆さん楽しい時間をお過ごしください。

【にこにこBOX報告】

齋藤育子委員長

「皆さんようこそお越しくださいました。」
 佐藤重喜さん、河野正美さん、小山充浩さん
 山田裕さん、田中利幸さん、小宮山陽一さん
 内堀敏高さん、長島三夫さん、井田宗広さん
 佐藤一元さん、服部正さん、栗木悦郎さん
 佐藤恵太さん、奥寺浩司さん、松井幸夫さん

【例会の記録】

- ◆SAA 小山充浩さん
- ◆司会 掛川浩邦さん
- ◆ロータリーソング 手に手つないで
- ◆ゲスト 丸子修学館高校両角文秋様
- ◆ビジター 上田RC 土屋陽一様
上田RC 窪田秀徳様

【出席報告】

	会員数	出席者	メイク	出席率
本日	35名	15名		57.70%
前々回	34名	12名	8名	80.00%

【幹事報告】

河野正美幹事

今週の着信

- ・日本事務局より
4月ロータリーレートのご案内
1\$ = 104円
- ・第2600地区より
2月財団寄付明細と米山寄付明細送付
国際大会信任状送付
学友会名簿作成の依頼

《懇親会》

山田裕さんの乾杯の発声で宴は始まりました。

